

WTD RTX167-521 データシート



WTD GPON OLT クラス B+ SFP トランシーバー モジュール

RTXM167-521

WTD RTX167-521 GPON OLT トランシーバーは、ギガビット対応のパッシブ光ネットワーク (GPON) 伝送用に設計されています。このモジュールには、1490nm DFB 連続モード送信機と 1310nm バーストモード APD 受信機が組み込まれています。送信機セクションは、高効率の 1490nm DFB レーザーと、単一障害下でクラス 1 のアイセーフティとなるように設計された統合レーザー ドライバーを使用します。レーザー ドライバには APC 機能と温度補償機能が含まれており、これらの機能を使用して、温度や経年劣化に対して光パワーと消光比を一定に保つことができます。

受信部は、統合された APD 検出器と一緒に取り付けられたバーストモードプリアンプを使用します。Consecutive Identical Digits (CID) の長いストリームへの耐性を備えた高速な整定時間を提供するために、受信機はメディア アクセス コントローラー (MAC) によって提供されるリセット信号を必要とします。受信機には高速 SD 機能があり、立ち上がり時間は約 5ns で、リセット信号が到着すると、SD 信号は Low になり、ガード時間のノイズはスケルチされます。

受信機には、システムからのトリガー入力を使用して、受信した ONU 光パワーのいずれかを直接デジタルに変換する、デジタル化されたバーストモードの光パワー監視機能が含まれています。トリガーの立ち上がりエッジが検出されると、DDM プロセッサはバースト光パワー変換を開始します。デジタル結果は、バースト光パワー変換時間の後に DDM インターフェイスを介して利用できます。トリガーパルス幅は Burst Optical Power Conversion Hold Time 以上である必要があります。

統合された WDM カプラーは、1310nm の入力光と 1490nm の出力光を区別できます。金属製のパッケージは、国際関連規格に完全に準拠する優れた EMI および EMC 特性を保証します。

特徴

- 統合型シングル ファイバ双方向光サブアセンブリ
- 1310nm バーストモード APD/TIA 受信機および 1490nm 連続 DFB レーザー送信機 (WDM 付き)
- SFP 金属パッケージ
- 0 ~ 70°C 使用周囲温度
- シングル SC レセプタクル光インターフェース準拠
- ホットプラグ対応
- +3.3V 単電源
- 低消費電力
- CID の長いストリームに対する耐性を備えた高速な整定時間
- ガードタイムスケルチ機能
- デジタル化されたバースト モードの光パワー モニタリング
- LVPECL 互換のデータ入出力インターフェース
- LVTTTL 受信機リセット制御
- LVTTTL レシーバのバースト電力検出表示
- クラス 1 レーザーアイセーフティ規格
- 優れた EMI および EMC 特性
- ESD 保護機能
- RoHS 対応

アプリケーション

- ギガビット対応パッシブ光ネットワーク (GPON) クラス B+ OLT 側の光トランシーバー

基準

- ITU-T G.984.2 クラス B+
- Small Form-factor Pluggable (SFP) トランシーバー マルチソース契約 2000 年 7 月 5 日

仕様

- 部品番号: RTX167-521
- フォームファクター: SFP
- 送信データレート: 2.488Gb/s
- レーザー: 1490nm DFB
- 光パワー: 1.5 ~ 5dBm
- 検出器: APD
- RX データレート: 1.244Gb/s
- 感度: <-28dBm
- 使用温度 : 0 ~ 70°C

[今すぐ購入](#)